

2 年生 岡山研修旅行を実施しました。 11 月 11 日(火)～13 日(木)

「2 年生の折り返し地点で、社会と自分をつなげる」を大きなテーマとして 2 泊 3 日に出かけてきました。

初日は、岡山県真庭市内にて、講話および 4 コースに分かれて SDGs 産業研修を行いました。夜間研修は岡山県内の大学に進学した 5 名の卒業生を講師としてお招きし、卒業生講話を行いました。高校時代の学習のアドバイスや大学生生活のリアルなお話をうかがうことができました。2 日目は、岡山大学、岡山理科大学、香川大学、川崎医療福祉大学、就実大学を訪問し、大学進学する際に考えておくべきことを教えていただいたり、実際の大学の講義室で模擬授業を受けさせていただいたりして、自分の進路について考える機会となりました。午後は 4 コースに分かれて産業研修を行いました。夜間研修では、2 日間の研修で学んだことをグループワークで発表活動としてふりかえりました。その際、先日、飯南町教育委員烏田勝信先生に教えていただいた、図式にまとめ、人に伝えるという「要約学習」の手法を用いました。最終日は鷲羽山ハイランドで楽しいひとときを過ごしました。

天候もよく、大きなケガもなく無事に帰ってきました。

お世話になった卒業生のみなさま、各研修先のみなさま、大学関係者のみなさま、宿泊先のみなさま、ありがとうございました。



生徒の振り返りより

○廃棄される食品を利用して作った液肥を利用して作物を作り、食べて、また残った食品を利用して液肥を作り、それを利用するというサイクルがよくわかった。

○その地域の特徴だったり、その地域が今実際に持続可能な社会を目指すためにやっている活動について知ることができ、その地域だけでなく自分たちの住む場所でも自分にできることがたくさんあると学ぶことができた。

○親近感のある先輩からの講話を聞いて、受験期の生活習慣についてのアドバイスや普段の生活の勉強方法などを教えてもらい、自分の行きたい大学に入れるように頑張ろうと思うことができた。

○映画を見た後に聖地巡礼として野崎家を楽しむこともでき、ジーンズストリートで日本産のジーンズの産業についても学ぶことができた。

○食事の量が自分にとっては多く、SDGs を学ぶ研修旅行なのに、食品ロスを大量に出していることが悲しかった。協力して頑張って食べきった。